

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則をここに公布する。

平成31年 3月 8日

佐賀県人事委員会委員長 中 野 哲 太 郎

佐賀県人事委員会規則第4号

期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を改正する規則

(期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部改正)

第1条 期末手当及び勤勉手当に関する規則(昭和39年佐賀県人事委員会規則第19号)の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正前	改正後
(勤勉手当の成績率) 第12条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、任命権者が定めるものとする。 (1) 再任用職員以外の職員 100分の180(県職員給与条例第17条第2項及び学校職員給与条例第20条第2項に規定する特定幹部職員(次号において「特定幹部職員」という。) にあっては、100分の220) (2) 再任用職員 100分の85(特定幹部職員にあっては、100分の105)	(勤勉手当の成績率) 第12条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、任命権者が定めるものとする。 (1) 再任用職員以外の職員 <u>6月に支給する場合には100分の180(県職員給与条例第17条第2項及び学校職員給与条例第20条第2項に規定する特定幹部職員(以下この条において「特定幹部職員」という。) にあっては、100分の220)、12月に支給する場合には100分の190(特定幹部職員にあっては、100分の230)</u> (2) 再任用職員 <u>6月に支給する場合には100分の85(特定幹部職員にあっては、100分の105)、12月に支給する場合には100分の95(特定幹部職員にあっては、100分の115)</u>

第2条 期末手当及び勤勉手当に関する規則の一部を次のように改正する。

次の表に掲げる規定の改正部分は、下線の部分である。

改正前	改正後
(勤勉手当の成績率) 第12条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、任命権者が定めるものとする。 (1) 再任用職員以外の職員 <u>6月に支給する場合には100分の</u>	(勤勉手当の成績率) 第12条 成績率は、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる割合の範囲内で、任命権者が定めるものとする。 (1) 再任用職員以外の職員 <u>100分の185(県職員給与条例第17条</u>

改正前	改正後
<p><u>180</u>（<u>県職員給与条例第17条第2項及び学校職員給与条例第20条第2項に規定する特定幹部職員（以下この条において「特定幹部職員」という。）にあっては、100分の220）、12月に支給する場合には100分の190（特定幹部職員にあっては、100分の230）</u></p> <p>(2) 再任用職員 <u>6月に支給する場合には100分の85（特定幹部職員にあっては、100分の105）、12月に支給する場合には100分の95（特定幹部職員にあっては、100分の115）</u></p>	<p>第2項及び学校職員給与条例第20条第2項に規定する特定幹部職員（次号において「特定幹部職員」という。）にあっては、<u>100分の225</u>）</p> <p>(2) 再任用職員 <u>100分の90</u>（特定幹部職員にあっては、<u>100分の110</u>）</p>

附 則

（施行期日等）

- 1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 第1条の規定による改正後の期末手当及び勤勉手当に関する規則第12条の規定は、平成30年12月1日から適用する。